



セキュアIoTプラットフォーム協議会 PDS(パーソナルデータストア)部会 活動報告

一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会
PDS部会

パーソナルデータストア (PDS) とは…

自身が保有する個人データを、**自分自身の意思**で管理できるようにするプラットフォーム

データの 管理と権限

- 自身のデータの所有と管理
- 他者に対するアクセス権限の付与

プライバシー保護

- 個人データの無断閲覧や無断使用防止
- 漏洩防止

データの 共有と統合

- 利用サービスへの個人データの共有
- 複数のサービスから収集されたデータの統合

【現状】

少子高齢化が進む中、高齢者の生活自立支援(Active Assisted Living: AAL)サービスの需要が急速に高まることが予測されている。

心拍や脈拍を測定するウェアラブルセンサや血圧計、体重計などの健康機器がネットワークに接続されるようになり、健康管理データの取得とその活用が一段と進展している。

これにより、AALサービスにおいてもIoT技術を活用した新たな支援の場面が増加している。

【課題】

介護事業者が高齢者へのケアサービスを連携して実施するには、関わる事業者や担当者間で利用者データを安全に連携・共有する仕組みが不可欠であるが、さまざまな課題がある。

- パーソナルデータ受け渡しにおける本人同意取得の負担が大きい
- 複数の事業者が独自に取得したパーソナルデータを集約し集中管理すると情報漏えいリスクとそれに伴う対策コストの増大
- 利用者にとってデータを預けることの不安感が大きい
- 競合する事業者間では個人のデータ授受が円滑に実施されない

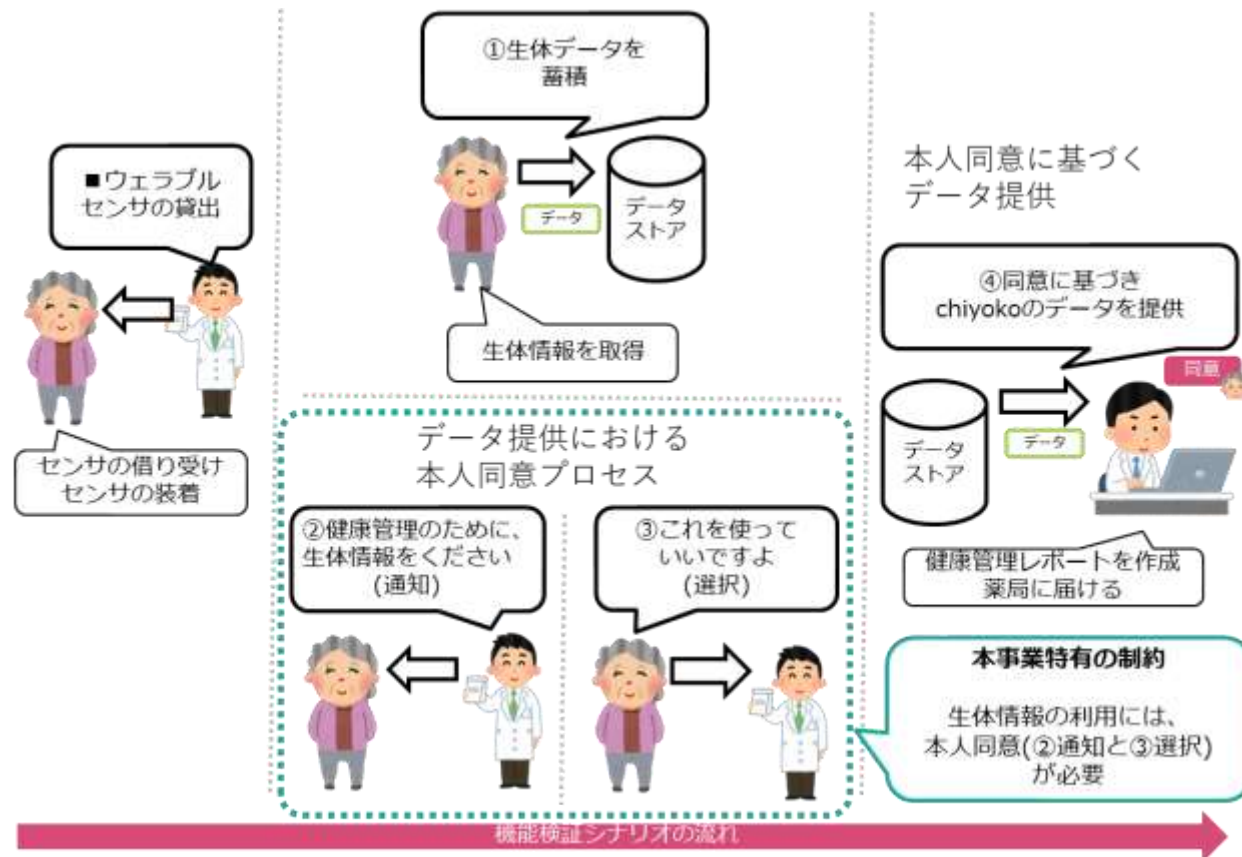


個人情報保護に関わる法規の準拠や、IoT情報の流通と個人情報の取り扱いに関わる
透明性の確保の両立が必要

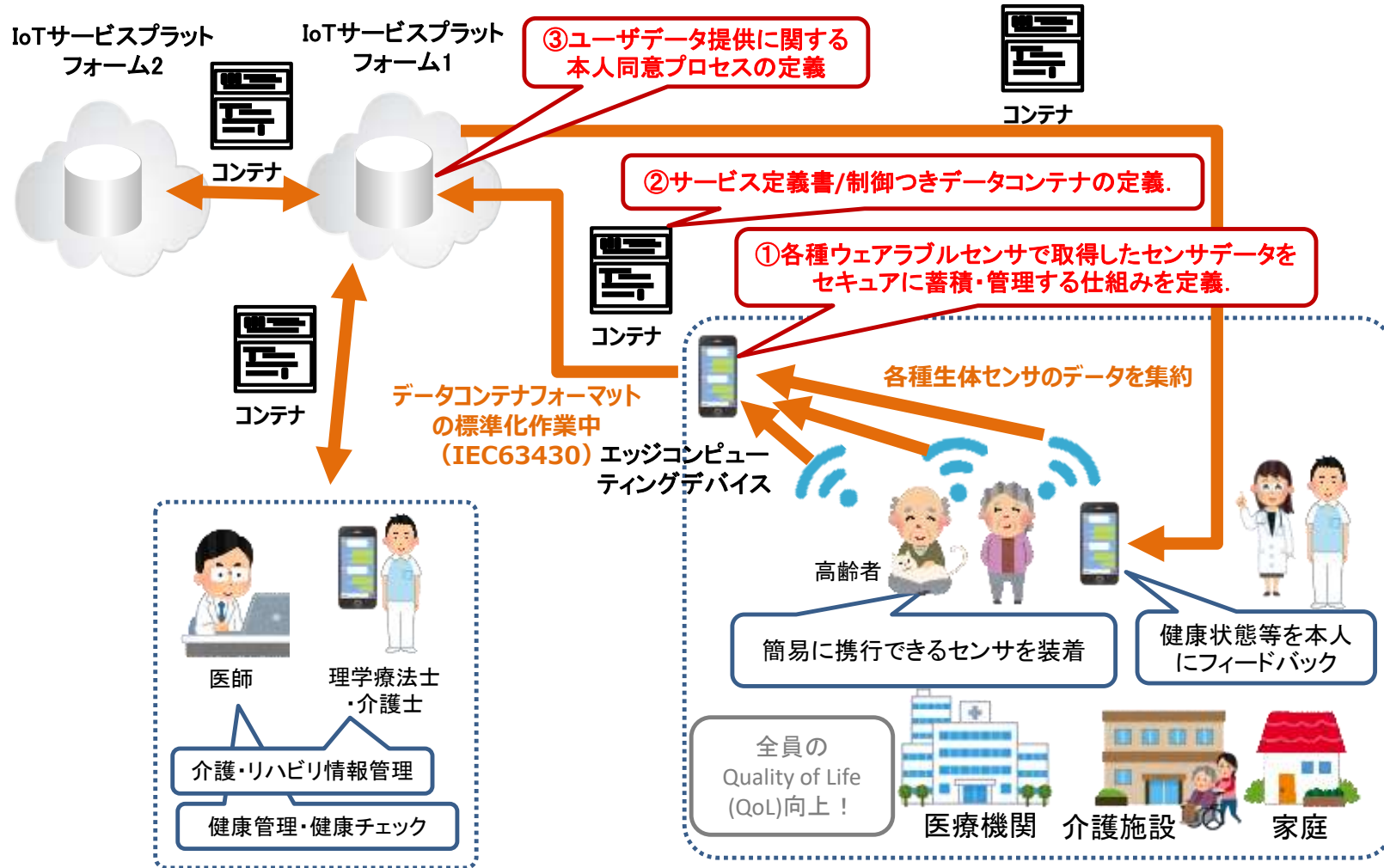
ユースケース

【ケース】

高齢者が薬局から貸し出されたウェアラブルセンサを装着して健康管理のために生体情報を取得し、そのデータから医師が健康管理レポートを作成して薬局に届けることで、本人が薬を取りに来た際にレポートを受け取って管理薬剤師からアドバイスを貰う



検討すべき技術要求



【3つの技術要求】

- ① ウェアラブルセンサで取得したセンサデータをセキュアに蓄積・管理する仕組み
- ② サービス定義書/制御つきデータコンテナの仕組み
- ③ ユーザデータ提供に関する本人同意プロセスの仕組み

- 「セキュアなセンサデータストアシステム」に関する国際標準規格の策定に向け、3つの技術要求についての研究中 (経済産業省公募)
 - ✓ 詳細は今後発表
- 「センサーデータストアサービス セキュリティ ガイドライン (ドラフト版)」の策定
 - ✓ 上記研究内容を含めて製作中
 - ✓ サービスプラットフォーム事業者に対して、本人同意に基づくセキュアなデータ受け渡しを行うためのセンサーデータストアサービスを提供するために必要な要件をまとめたガイドライン
 - ✓ 技術要求だけではなく、運営体制やガバナンスにも言及し、セキュリティマネージメントの観点でも安全性を担保する内容としている。